

「どさにき」かながきげんだいごやく

仮名書き現代語訳をもとに、ノートに写した本文に傍線注釈をなさい。（仮名書きを常用漢字に直すこと。『』内は自分で辞書を引き適切に現代語訳をすること。）担当に当たったグループは、授業開始前に黒板に傍線注釈を書き、誰でも下段にある間に答えられるように準備しておくこと。

- ①だんせいも『』、じよせい（であるわたし）もかいて『』
と『』、かく『』。
- ②あるとしのじゅうにがつにじゅういちにちの『』、『』、
しゅっぱつをする。
- ③その『』、『』を、『』、『』。
- ④『』、『』、じむひきつぎなども『』、『』、げゆじょうなどをうけと
つて、『』、『』、かんしゃからで、ふねにのる『』、『』。
- ⑤あのひとこのひと、『』、『』、みなが『』、『』。
- ⑥『』、『』は、『』、『』、『』、『』、なにやかやとしては、『』、『』。
- ⑦にじゅうににちに、いづみのくにまでは（せめて）、『』、『』。
- ⑧『』、『』。
- ⑨（みぶんの）じょううちゅうげのものみなが、じゅうぶんよっぱら
つて、『』、『』、しおからいうみのひとりで、ふざけあつた。
- ⑩にじゅうさんにち。『』、『』。
- ⑪このひとは、こくしのやくしよで『』、『』、ひとでも『』、
このおとこが、いかめしくりっぱなようすで、『』、『』。
- ⑫このひとがら（がよいため）『』、『』、いなかのひとにんじ
ようのつねとして、「いまとなつては（ようもない）。」といつてか
おを『』、『』、ひとめをきにせずに『』、『』。
- ⑬これは、せんべつのおくりもの（をもらったこと）に『』、『』。
- ⑭にじゅうよつか。こくぶんじのそうちよが、『』、『』。
- ⑮『』、『』、「どもまだが『』、『』、「いち」というもじを『』、『』、
そのあしは、「じゅう」もんじに（ちどりあしを）ふんであそびきよ
うじている。
- ⑯文中よりワ行が含まれている（活用の行がワ行ということではない）用言を見つけて、左
を埋めなさい。

①二つの「なり」の識別方法は？

②十二支と時刻、方角の関係は？

③「べき」を文法的に説明しなさい。

④「ある人」とは誰？

⑤ここは今何県？

⑥「ど」を文法的に説明しなさい。

⑦この「しやれ」の説明をしなさい。

⑧「いとあやしく」とあるのは何が「あやし」なのか？

⑨「ざるなり」を文法的に説明しなさい。

⑩「国司」とは誰のことか？

⑪「ざるなり」を文法的に説明しなさい。

⑫「ざなる」を文法的に説明しなさい。

⑬「出でませり」を文法的に説明しなさい。

⑭「遊ぶ」を文法的に説明しなさい。

⑮「出でませり」を文法的に説明しなさい。

⑯「遊ぶ」を文法的に説明しなさい。

文中の動詞は……	基本形	語幹
未然形	連用形	行
連用形	終止形	活用
連体形	已然形	形
已然形	命令形	